

2025 年度（令和 7 年度）

知床国立公園カムイワッカ地区利用適正化対策協議会 議事概要

1. 日 時：2025 年 5 月 30 日（金） 13：30～15：30
2. 場 所：斜里町産業会館 2 階大ホール
3. 議 題：
 - （1）2024 年度（令和 6 年度）の事業結果について
 - （2）2024 年度（令和 6 年度）収支決算報告及び会計監査報告について
 - （3）2025 年度（令和 7 年度）実施計画及び収支予算案について
 - （4）その他
4. 参加者：名、詳細は出席者名簿を参照

司 会 環境省 二神（副会長代理）

挨 拶 斜里町 塩（会長代理）

議 題

（1）2024 年度の事業結果について

○資料 1－1 2024 年度 カムワッカ地区の運用状況と各事業の実施結果について

－全体運用状況及び湯の滝利活用検討事業を一斜里町・岩渕より説明

- ・試行事業の最終年として運用を行った。
- ・今までの知見を基に円滑な運営体制を構築できた。
- ・アクシデント等の情報を蓄積して、さらなる予防体制構築も検討予定。
- ・シャトルバス利用者の 9 割以上が湯の滝登り参加者となっており、事前予約の周知向上に伴い、バス運行の効率化も検討予定。

－路線バス増便事業及び硫黄山登山道の利用実績を一斜里町・吉田より説明

- ・広報強化の影響か、渋滞発生時の路線バスへの乗り換えも多く増便期間中の利用客は大幅な対前年増となった。

－知床ディスタンスキャンペーンー環境省・伊藤より説明

- ・公園法改正も踏まて、キャンペーンを強化対応しており併せて、インバウンド対応も踏まえて英語資料を増刷した。

◇質疑応答

- ・質疑なし。

（2）2024 年度（令和 6 年度）収支決算報告及び会計監査報告について

○資料 2－1 ① 2024 年度 カムイワッカ地区事業収支決算書ー斜里町・岩渕より説明

- ・バス経費や各種物価の高騰を受けて、予算額より大幅な支出増となった。非常時用積立を決算額 ¥0 として、¥570,012 を次期繰越金とした。
- ・次年度からの利活用促進事業においては、支出科目のさらなる詳細掲載を行い持続可能な収支バランスに努める。

○資料 2－1 ② 2024 年度 カムイワッカ地区事業 事業安定化基金積立調書ー斜里町・岩渕より説明

- ・事業安定化基金への積立はなく、利息追加で総額¥5,002,218 とした。

○資料 2-2 2024 年度 会計監査報告書

ー網走建設管理部斜里出張所所長・栢田より説明

- ・各証拠書類に基づきいずれも適正に処理され収支決算報告書のとおりであったことを確認した。

◇質疑応答

- ・質疑なし。

(3) 2025 年度（令和 7 年度）実施計画及び収支予算案について

○資料 3-1 ① 2025 年度 カムイワッカ湯の滝等利活用促進事業 計画（案）

ー斜里町岩渕より説明

- ・今年度より利活用促進事業となる。
昨年度までの検討事業も踏まえて、さらなるカムイワッカ園地全体の魅力向上に努める。
- ・昨年度の事案を踏まえて、利用条件に【ペットの入渓は禁止する。】追加や
催行中止時の情報蓄積を参考にした閉鎖条件の更新など
今後も安全を第一に見直しや更新を行う。

○資料 3-1 ② 2025 年度 年間事業スケジュールー環境省・伊藤より説明

- ・2024 年度同様のスケジュールとなる。

○資料 3-2 2025 年度 収支予算書（案）ー斜里町・岩渕より説明

- ・今年度予算として、観光庁補助金 270 万、道の交付金 125 万を新たに計上
斜里町負担金も 150 万増額で 400 万とする。
- ・バス代のさらなる高騰、専用サイト維持管理の期間延長や人件費高騰などで
支出科目によっては対前年から大幅増を見込む。

○資料 3-3 2025 年度 道道公園線の工事について

ー網走建設管理部・菅原より説明

- ・落石対策工事は令和 6 年度に法面下部に設置したリングネットが全て完了
令和 7 年度は法面中腹にある不安定岩塊 5 個についてロープ掛け工を実施予定
- ・擁壁対策工事は本年度に全ての工事を完了予定。
- ・知床大橋は長寿命化のための補修工事を行う。

◇質疑応答

- ・園地自体の今後に向けて事務局見解を求む。（知床財団・玉置氏）
→園地整備の重要性は認識しており、利活用を検討していく。（斜里町・岩渕）
- ・知床大橋までの道道の全体予定を伺いたい。（知床財団・玉置氏）
→橋は 5 年に 1 回の点検により発見された劣化・損傷などを補修するための工事である。
硫黄山登山口付近のゲートは今年度中に設置予定。（網走建設管理部・菅原氏）
- ・知床大橋の工事予定について説明があったが、今後の長期的な道路整備の見通しは、道路だけではなく、観光利用、安全対策を含めた検討も必要と認識。（知床財団・秋葉氏）
→知床大橋までの供用開始は目標としたいが、硫黄山登山口から知床大橋までの調査終了後に、
対策及び計画立案となることを御理解願いたい。
今回の知床大橋の工事は 5 年ごとの長寿命化計画の中での補修事業であることを

御理解願います。（網走建設管理部・小林氏）

（４）その他

・質疑なしで終了

以上